

原村長
清水 澄きよしみ

皆さん、明けましておめでとございます。今年が皆さんにとりましてご多幸であり、ご発展の年となりますようお祈り申し上げます。

原村にとりまして今年が一層発展し、住民の皆さんの幸福度が一段と高くなりますよう、更に励んで参りたいと存じます。村勢は今、大変に上昇の気運に富んでおり、飛躍的な発展を予感させています。と申しますのは開村以来の人口が、年々増加の一途を辿り、活力のある村に向かつているからであります。

人口減少社会ではありますが、本村は毎年50人位づつ増えており、昨年暮に遂に7千9百人を記録するところまで来ました。これも、今やブランドとも言える住民の幸せには健康が第一と信じて行ってきた政策の数々と、雄大無比の自然景観の賜ではないかと、些か自負する次第です。人口は増加率において県下一であり、村の活力を示している訳ですが、それだけに今後の村づくりもまた問われていると思えます。福祉に優れた本村ですが遂に昨年は国会の目にも止まり、参議院の調査会で「幸福度の高い社会の構築」について、本村の実情を述べるまでになつてきております。希有なことで感謝する次第です。

65歳以上医療費の総て無料化は全国でも注目の的の福首であり、乳幼児医療費の中学3年生までや母子父子家庭・障害者、世帯主医療の無料化等本村福祉の大きな柱であります。今にやめて行けなくなるのではないかとのご心配もあるようですが、多少の手直しの時期は或いは来るかも知れませんが、本村福祉の本丸であり、財政的にも当面懸念はありませんので、ご安心を願いたいと思えます。各種予防接種や保健事業、子育て支援もまた怠りなく務めて、住民の幸福度を高めて参りたいと思えます。結婚活動にも力



原村議会議長
小池 和男

村民の皆様、明けましておめでとございます。卯年の新春を迎え皆様にとりまして良き年でありませう心からご祈念申し上げます。

日頃より議会活動に対して、ご指導温かいご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議会報告・懇談会・教育問題懇談会等を開催して村民の声を反映してまいりました。

昨年の七年に一度、諏訪大社御柱祭には、原村の底力を天下に披露出来たこと、また、各地区の小宮祭が一年中行われ、この祭りによって世代交代が確実に行われたことを確認いたしました。

7月の豪雨災害に際しては、いち早く現状把握を行い村民の負託に応えました。先人達よりの教訓がこの事だったのだと思ひ知らされました。

日本経済はリーマンショック以降の世界同時不況から回復できず、いまだ景気低迷を余儀なくされており、国民生活は厳しい状況下におかれております。

ごあいさつ

を入れて参ります。

教育においては中学校の大規模改修を行い、老朽化に対処すると共に、木質化を出来るだけ計り、学習環境を向上させたいと考えています。文科科学省では中学校でも少人数学級に移行する方針のようですが、本村ではそれを先取りする形で、新中学1年生で少人数学級に取り組みで行くつもりです。

本年は学童クラブ室が完成し、放課後児童対策は一段と良い環境で進めることが出来ます。

本村の基幹産業である農業にとりましては、本年は厳しい年となりそうです。兼ねて景気低迷に苦しむ経済界や産業界では、自由貿易への志向が強い訳ですが、遂に政府をしてTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加への舵を切らせました。総ての関税を撤廃することになれば、農業は壊滅的な打撃を受けることとなります。貿易の振興も大切ですが、国内農業も大切で、ここは一番知恵の出どころです。何として良い解決策を見出さなければなりません。私も必要とあらば、この立場でモノを言っていく覚悟です。村内商工業もまたこの不況で苦しんでいます。制度資金や相談事業でしっかり支えたいと思えます。

観光も景気低迷で落ち込んでいます。本村の魅力のPRに力を入れ、滞在体験型観光で少しでも活性化しよう努めて行きたいと思えます。都市との交流、移住交流促進事業は原村の名前を広く知ってもらい、少しでも原村に関心を持ってもらう為にも必要ですので、休むことなく続けなければなりません。

本年は第4次総合計画の後期5ヶ年の基本計画策定の年です。役場では現在その作業を住民の皆さんのご意見もお聞きして、行っているところですが、原村が一層飛躍できるよう、皆さんのお知恵をお願い致します。

さて、地域を活力に溢れた良い地域にするには、行政の力だけでは出来ません。自分達の地域は自分達で良くするという考え方が必要です。集落行動計画について昨年からお願ひしていますが、皆さんの熱意と行動力で、住民力の迸り出るような地域を作って下さるようお願いするものです。

平成の大合併は一段落しましたが、未だ安定したとは言えず、新自由主義者達は諦めてはいません。更に道州制で迫って来るものと思われまます。その為にも結束した村を作っていることが必要となります。ますます志が大切となります。

最後に、原村は「日本で最も美しい村連合」に十分加盟出来る程の美しい景観を有する村だと思えます。その村に空き缶や肥料袋、マルチ等が散乱しては話になりません。ゴミのポイ捨てはやめましょう。また鳥獣被害を防ぐ為にも、墓参りの供物は回収して持ち帰りましょう。今年も全力で務めて参りますので、よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。ありがとうございます。

深刻化する少子・高齢化による人口減少、逼迫する財政状況という厳しい状況に加え、多様化する住民ニーズへの対応が求められており、取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。

一方、政権交代が実現し、地方分権へと流れは大きく変わろうとしています。国政は迷走しており、具体的な動きをして、地域主権に入ってほしいと思っております。今は各自治体が自分達の最適を主張するのではなく、全体を考え、政策を実行しなければなりません。議会では、このような諸問題に対処するべく対応と共に議論を重ねていきます。村民の皆様のご貴重なご意見を頂き議会活動に生かしていく所存でございます。

今年統一地方選挙の年であり、原村議会には女性議員が居ません。生活の一躍を担っている女性の目線も必要です。昨年の臨時議会は5回開催され、11月の臨時会に環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉へ参加することを、農業立村として反対し、意見書を政府に提出いたしました。交通弱者の足を確保するために、公共交通の実証運行中であり、乗って残そう「公共交通」このキャッチフレーズが合言葉です。村民の皆さんの協力をお願いします。

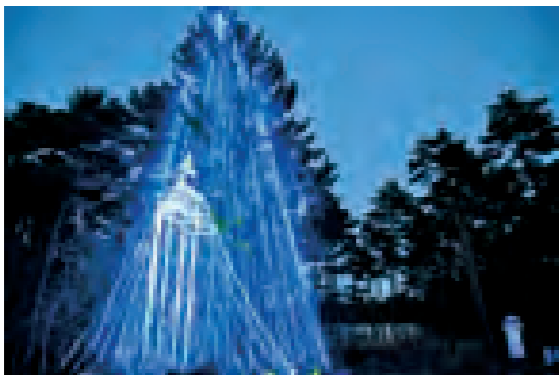
議会は、安心・安全で暮らせる村づくりに向けて、今後も全力を傾注し村民の負託にこたえていく所存でございます。村民の皆様のご相変わらずのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

11/17~30 原村原爆パネル展



広島平和記念資料館から借りたパネル写真を、役場講堂で展示しました。

11/20 大イルミネーションがリニューアル



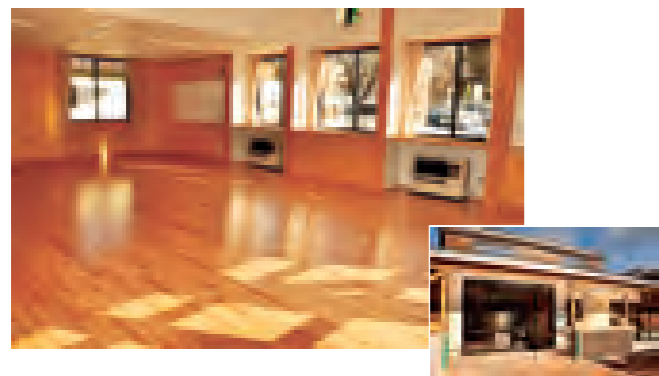
およそ20mのドイツウヒに飾られたイルミネーション。原村の冬の風物詩となりました。

11/30 民生児童委員協議会がアルミ缶リサイクルで寄付



民生児童委員協議会と日赤奉仕団では、村内で回収したアルミ缶約5.4t、約55万5千円から、中学校へAEDを寄贈しました。

12/20 原小学校学童クラブ 新築



建物の老朽化等に伴い、原小学校敷地内へ新たに建設されました。児童が安心して過ごせる空間ができました。

9/9 婚活支援講演会



NPO法人花婿学校 大橋清朗氏による「現代の日本の婚活事情と結婚支援事業の重要性について」の講演をしていただきました。

9/22~30 ニュージーランドプケコヘからホームステイ



姉妹都市のニュージーランド・プケコヘの生徒及び引率者25名が、原村に9日間滞在しました。

10/1 公共交通セロリン号・穴山原村線 実証運行開始



10月1日から実証運行が始まりました。地域の公共交通を維持するためにも、「セロリン号」を利用しましょう。

10/17 津金雀仙自詠詩碑除幕式



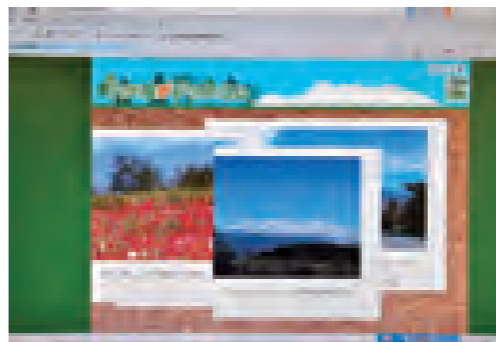
凌雲会の津金孝邦さんが、八ヶ岳美術館の敷地内に建立しました。この石碑はいつでも見学が可能です。

4/1~ 学校給食に米粉パンの提供始まる



米粉の消費拡大につなげようと、原村産の米粉で作ったパンが、小・中学校の給食に年間を通して提供されました。

4/1~ 八ヶ岳観光圏整備事業に認定 (平成22年度~26年度)



山梨県北杜市・富士見町・原村の3市町村が、県から認定されました。今後、パンフレット等を配布し、広くPRしていく予定です。

7/9 民生児童委員協議会が保育所へ寄付



村内11ヶ所で集めたアルミ缶を換金し、原村保育所保護者会へ6万円を寄付しました。

8/8~22 星空の映画祭 4年ぶりに復活



4年ぶりに復活した映画祭には4作品が上映され、多くの方が自然文化園を訪れ、映画を楽しんでいました。

特集

写真で振り返る 原村2010

新年あけましておめでとうございます。昨年とはどんな一年だったでしょうか。今回、2010年に起きた、さまざまな出来事を写真とともに振り返りたいと思います。

1/21 保育所未満児棟引渡式



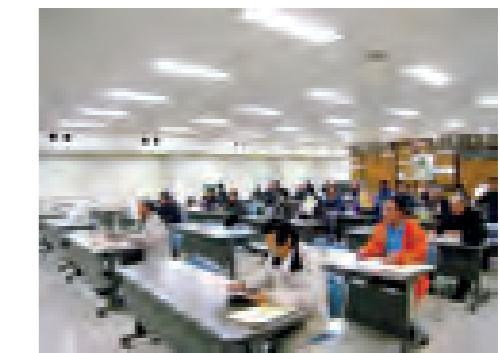
新しい未満児棟は、元気な子どもたちであふれていました。

2/15~26 ごみ減量取組み住民説明会



4月から可燃ごみの処理方法や分別方法が変わりました。ごみの減量に取り組んでいきましょう。

3/16 戸別所得補償モデル対策事業説明会



稲作農家の経営安定・食料自給率の向上を図る新制度として、米戸別所得補償モデル事業と水田利活用自給率向上事業の説明会が行われました。

平成23年 原村成人式

1月3日に行われた成人式には、平成2年4月2日生まれ～平成3年4月1日生まれの成人者が、中央公民館に集まりました。今年の成人者は82名（男41名・女41名）で、その内70名が成人式へ出席しました。



受付での様子



成人者の挨拶



記念写真



記念パーティーの様子

式典終了後は、成人式実行委員会主催の記念パーティーが行なわれ、中学校の恩師からの挨拶や、成人者のもみの木祭での映像が流され、当時を懐かしんでいました。また、ビンゴゲームも行われ、会場は友人との再会に喜ぶ成人者で溢れていました。

11月30日には、第21期の民生児童委員協議会の皆さんが任期中に行ってきた、アルミ缶リサイクル活動で集めた資金で、原中学校へAEDを、原小学校やこひつじ幼稚園等にも図書券や寄付金が寄贈されました。また、村内11ヶ所でリサイクル回収場所を提供していただいた地区等へ、お礼の品が贈られました。この活動は、LCVのニュースでも特集されました。



五味会長は、5tを回収目標として活動してきましたが、結果、総重量5t423kg、総額555,549円となり、多くの皆さんの協力で集まったと感謝していました。

また、12月から新体制となった委員の皆さんも、今までの活動を今後も継続していくこととし、現在各地域のごみステーションへ、アルミ缶回収袋を設置しています。

米粉、使ってますか？

原村で栽培された米粉用米も2年目の収穫が終わりました。今年は昨年よりも栽培に協力してくれる農家が増えて、約30tが製粉業者に持ち込まれ、これから粉にして販売されます。

米粉は調理方法によって、「もちり」、「しっとり」、「さっくり」と、いろいろな食感を楽しめ、小麦粉の代わりとしても幅広く使用することができます。

消費されている小麦粉の多くは輸入に頼っています。普段から料理に使っている小麦粉を地元で生産された米粉に代えることにより、食料自給率の向上や、地域産業の活性化などにつながります。

学校給食に米粉パンが登場

今年度から原小中学校の給食に原村産の米粉を使った「米粉パン」が提供されています。

ふんわりもちもちの米粉パン

おかずがなくても食べられる！おいしい！！
と、好評です



原村こめっクラブ活動中♪

「原村こめっクラブ」は、原村産米粉の普及と地域産業の活性化を目的に今年1月に設立しました。現在は、目的に賛同してくれた個人や団体・法人、約20名の会員で活動していて、各種イベントでの米粉の試食やレシピの配布によるPR活動、米粉の料理教室などを行います。

また、米粉を使った新しいメニューや商品開発にも取り組み、米粉レシピ第2弾の作成に向けて新レシピを研究開発中です。

協力者(店)大募集！！

原村こめっクラブでは、会員になって一緒に米粉の普及活動に参加していただける方、米粉のオリジナルレシピを研究・提供してくれる方、米粉を使った商品の販売をしていただける事業所などを募集しています。米粉に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

★原村産の米粉を使用した料理を提供する飲食店や宿泊施設、米粉のパンやお菓子の販売店を広くPRします！（すでに米粉料理を提供しているお店などがありましたら情報をお寄せください）

★米粉を使った新商品の開発や新メニュー作りに挑戦される方に無料で米粉を提供します。（数に限りがありますのでお早めにお申し出ください）

かぼちゃの天板ケーキ



◇材料 (36cm×26cm)

- 米粉(微細粉)…150g
- かぼちゃ…1/2個(約600g)
- たまご…5個
- はちみつ…70g
- 牛乳…80ml
- 砂糖…110g
- バター…100g
- ベーキングパウダー…小さじ1/2

◇つくりかた

- ①米粉とベーキングパウダーを合わせてふるっておく(A)
- ②かぼちゃの種とわたを取り除き、4等分してラップをかけて、電子レンジ(500W)で約7分かける。半量を熱いうちに細かく潰し(B)、残りは冷めてから薄切りにする(C)
- ③小鍋に牛乳とバターを入れて温め、バターを溶かす(D)
- ④卵を卵黄と卵白に分ける。卵黄は泡だて器でほくほくしてはちみつを加え、とろりとするまで混ぜる(E)。卵白は強く泡立てて、砂糖を3～4回に分けて加えながら、さらによく泡立てる(F)
- ⑤(E)に(A)(B)(D)と(F)の半量を加え、全体がなじむまでよく混ぜる。最後に残りの(F)を加えて手早くさっくりと混ぜる。(G)
- ⑥オーブンシートを敷いた天板に(G)を流して平らにし、(C)をのせて170℃に温めたオーブンで約40分焼く。
- ⑦冷ましてから切り分ける。

お問い合わせ先：農林商工観光課農政係（原村こめっクラブ事務局）電話79-7931（直通）